

- 最寄駅等と最終目的地をラストマイル自動走行で結ぶ「公道での地域限定型の無人自動運転移動サービス」を2020年度に実現するという政府全体の目標を達成するため、国土交通省と連携し、石川県輪島市（平成29年12月）、沖縄県北谷町（平成30年2月）、福井県永平寺町（平成30年4月）、茨城県日立市（平成30年10月）において、実証実験を実施。
- 今般、福井県永平寺町において、遠隔にいる1人の運転者の監視・操作の下で、2台の車両を運行する自動運転技術の検証を開始。

小型カートモデル

小型カート

標準
多人数対応

○ゴルフカートをベースに、乗り降りしやすいオープン構造とし、多人数対応の仕様展開を予定。

①【市街地モデル】石川県輪島市

(小型カート利用)
H29.12～

②【過疎地モデル】福井県永平寺町

(小型カート利用)
1人:1台 遠隔操作 H30.4～
1人:2台 遠隔操作 H30.11～

小型バスモデル

信号機
カメラ
磁気マーカー

遠隔操作
<通常時>1:N
<緊急時>1:1

小型バス

○公道上に磁気マーカーを埋設、カメラを設置し、信号機の現示情報取得を行う空間を構築して、その空間上を自動走行バスが走行。

③【観光地モデル】沖縄県北谷町

(小型カート利用)
H30.2～

④【コミュニティバス】茨城県日立市

H30.10～

福井県永平寺町におけるラストマイル自動走行「1名:2台の遠隔型自動運転技術」の実証実験(概要)

実験概要

- 実施期間：平成30年11月19日から
- 実施場所：福井県永平寺町の京福電気鉄道永平寺線の廃線跡地の一部路線(永平寺参ロード 自転車歩行者専用道の南側一部区間(約2km)の往復)
- 実施者：産業技術総合研究所、ヤマハ発動機(株)、(株)日立製作所、慶應義塾大学SFC研究所、豊田通商(株) 等
- 実施内容：
 - 遠隔ドライバー1名による2台の車両の遠隔型自動運転の技術検証
 - 自動運転電動カートによる移動サービスの実現に向けた遠隔監視：操作、管制技術の検証 等

